

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	58	ミニ博物館の充実及び推進					
章	2	ともに学ぶ、文化とふれあいのあるまち					
大項目	02	個性ある地域文化づくり					
施策	02	文化資源の保護と文化環境づくりの推進					
事業内容							
目的	区内に在所する文化資源及び産業設備を整備し公開することにより、区民の教養や文化の発展に寄与します。						
対象・手段	区内に在所する文化資源及び産業設備など、寺社、地場産業、伝統工芸、老舗、民間事業所、官公庁、鉄道等のうち区民が気軽に入れる展示、実演施設をミニ博物館として整備し、公開します。						
成果(事業が意図する成果)							
区内にある身近な文化資源を区民に認識してもらうことで、地域への愛着を深め、区の文化環境づくりが進められます。また区外の人々に新宿の地域文化とその伝統に対する魅力を伝えることができます。							
事業成果指標							
指標名	定義	目標水準					
ミニ博物館開館状況	ミニ博物館開館達成率	(平成18年度) 8館の開館運営の水準達成					
		() 年度の水準達成					
		() 年度の水準達成					
成果の達成状況							
	単位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備考	
事業成果指標	目標値1	館	8.00	8.00	8.00	8.00	
	実績1	館	7.00	7.00	7.00	7.00	
	= /	%	87.50	87.50	87.50	87.50	
	目標値2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	新館1館の設置計画策定 各ミニ博物館に対する運営補助(7館) 各ミニ博物館のパンフレットの改訂(1館)および増刷(2館)						
平成18年度	新館1館の設置調整 各ミニ博物館に対する運営補助(7館) 各ミニ博物館のパンフレットの増刷(2館) 伝統工芸講座(2回実施、68名参加)						

部名称		教育委員会事務局		課名称		生涯学習振興課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
トータルコスト	事業費	千円	1,713	1,164	2,053	1,326	
	人件費	千円	6,548	6,548	6,548	6,820	
	事務費	千円	10	10	10	0	
	減価償却費等	千円	0	0	0	0	
	総計 = + + +	千円	8,271	7,722	8,611	8,146	
	受益者負担	千円	0	0	0	0	
	純計 = -	千円	8,271	7,722	8,611	8,146	
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
財源内訳	一般財源 = -	千円	8,271	7,722	8,611	8,055	
	特定財源		0	0	0	91	
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	98.88	
職員	常勤職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50	
	非常勤職員		1.00	1.00	1.00	1.00	
事業に関する検討課題							
<p>ミニ博物館は区内の文化資源を再評価し、これをもとに区の文化環境を整備するための貴重な施設です。区民に郷土の文化とその魅力を伝える意義も大きく、今後も継続・発展させる必要があります。</p>							
評価基準に基づく評価と理由 「3.2.1」の3段階評価です。	達成度	2	新館開館はセキュリティに関する重大な事項のため条件が整うまで延期となりましたが、既存館展示施設改修の条件整備や新たな活性化策の検討を行うことができました。				
	効率性	2	積極的な観光施策等に位置づけられるよう、関係機関と調整するとともに、経費の見直し等により、効率的な事業実施をしています。				
	実施の成果	2	区内の身近な文化資源・教育資源として認識されてきました。区民との協働事業として、文化・観光施策展開の新たな資源として位置づけられるようにすることで、より大きな成果が期待できます。				
	行政の関与	2	区内の文化資源を広く周知し、文化環境づくりを進めるため、区が主体的に関与する必要があります。				
	妥当性	2	活動を継続的に活性化させる方策を今後とも考える必要があります。既存館の展示設備改修も含め、観光施策等としての位置づけについては、関係機関との十分な調整と緊密な連携が必要となっています。				
	施策寄与度	3	既存館の展示設備改修や活性化策により、区民の身近な文化資源として、新たな魅力の活用を図ることができます。				
総合評価	財政状況の変化と、観光施策の一つとしてより積極的な展開は考えられないかとの補助金等審査委員会の提言等を踏まえて新館1館を計画しましたが、セキュリティに関する重大な事項が発生したため、定期的な公開が困難となり条件が整うまで計画延期となりました。一方、既存館の施設、展示に関する老朽化に対し、要綱の整備など改修についての条件整備の検討や、既存館の魅力を広く知らせるため、伝統工芸講座等新たな活性化策の検討を行いました。						B 過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度
							方向性
改革方針	新たに整備した要綱に基づき、既存館の展示施設改修整備を進めるとともに、継続的な事業として遂行していくため事業を経常化し、ミニ博物館を文化・観光施策の一つとして積極的に位置づけられるようにしていきます。また、各博物館の新たな魅力を伝え、活動をより活性化させていくために、各博物館の持ち主とも十分な連携を図っていきます。						1 現状のまま継続